50号記念 !!!!!!
50号
2004 AUG.

# NOPPO FUN

Monthly News

発行所
Noppo
編集・監修
のっぽ公報班

## パソコンリサイクル

ブロードバンドも普及して、家でパソコンを使っている人は増えていますよねぇ。平成１５年度におけるパソコンの国内出荷台数は１０７８万台であり、家庭向けはそのうち約４割（約４３０万台）と推定されています。

家庭向け出荷比率がここ数年で急速に伸びた結果、内閣府調査によれば家庭における普及率は平成１５年度で６５・７％に達しています。

家電リサイクル法の対象となる家電４品目にパソコンは含まれていません。が、今後家電化してきているパソコンの買い替えは増えてくると予想されます。

そこで、２００３年１０月１日より、「資源有効利用促進法」に基づいて、メーカーとお客様が協力しあって、家庭のパソコンを再資源化するＰＣリサイクルが始まりました。使用済パソコンはこれまで、自治体が回収・処理していましたが、パソコンメーカーが回収し、部品や材料をより有効に再資源化していきます。なお、ＰＣリサイクル開始以前に購入されたパソコンは、「回収再資源化料金」を個人で負担します。

家庭系パソコン

事業系パソコン

今回の調査では分かりませんでした。
後日調べて報告いたします。

メーカーパソコンでPCリサイクルマーク有り

PC リサイクル

メーカーへ連絡

メーカーパソコンでPCリサイクルマーク無し

PC リサイクル

メーカーへ連絡

メーカーより振込用紙の送付

リサイクル費用の支払い

メーカーより「エコゆうパック」伝票を送付

パソコンを簡易包装し「エコゆうパック伝票」を添付して、郵便局からメーカーに送る。

回収方法として、お宅に取りに伺う『戸口集荷』と、みなさまの方から郵便局にお持ちいただく『持込み』があります。

自作パソコン又はパソコンメーカーが倒産した場合

パソコン３R推進センターが窓口となり有償で回収して再資源化する。
http://www.pc3r.jp/h_jisaku.html

### 一口メモ

[ハードディスクのデータは消去しておきましょう。そのままでも情報の漏洩の心配はありませんが、データ（情報）の管理は利用者の責任で行うことが重要です。専用のツールなどを使って初期化しましょう。

[同梱可能なもの］
マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど、ご購入時の標準添付品

[同梱不可能なもの]
プリンタなどの周辺機器、取扱説明書／マニュアル、フロッピィディスク、CD-ROMなど